



地域とともに歩み、
地域の未来を拓く学校

湖南省立石部小学校校報第149号

令和3年(2021年)12月13日

文責：校長 法山 由紀子

金メダル級の「笑顔」がいっぱい！

～「いしべっ子」の心がひとつになった運動会 2021.11.17～

11月17日(水)に実施した運動会。「天も私たちに味方してくれた♡」と思うような穏やかな晴天に恵まれ、いしべっ子みんなの力で「笑顔あふれる楽しい運動会」を創りあげることができました。何より、いしべっ子一人ひとりの「底力」を見ることができてうれしかったです。



開会5分前には、全校の子どもたちが運動場にスタンバイ。しーんと静まった会場は、始まりのときを待つ心地よい緊張感に包まれていました。全校みんなでよい雰囲気をつくり出せたあの瞬間に、私は「きっと今日の運動会はうまくいく！」と確信しました。



開会式では、運営委員会委員長青木孔汰さんが、一言一言かみしめながら、運動会ができることの喜びと感謝の思いを伝えました。また、運動委員会委員長の小田巻美羽さんの力強い選手宣誓には、最後の運動会を最高学年としてやりきるぞという気迫が感じられました。

今年度、取り入れた「レインボータイム」では、6色のリーダーを中心とした高学年が、チ



ーム全体を引っ張りました。各色のスローガンを発表し、さらに他の色へ「ともががんばろう！」のエールを送るという取組です。

コロナ禍の中で、これまで6年生は「みんなの前に立ってみんなを引っ張っていく」という貴重な経験をする機会がなかなかありませんでした。けれど、ここぞ！というときに本気を見せたリーダー達を1～4年生たちが盛りあげてくれたことで、チームの仲間達の心がひとつになっていることを感じました。

さて、今年も「石部小学校の芝生を育てる会」のみなさんが、芝生の運動場を最高の状態に整えてくださいました。そんな芝生の上を一人ひとりが力強く走りきった徒競走。学年を追うごとにバトンパスの技術が向上し、練習の積み上げの成果を感じたりレー。団体演技は、どの学年部の発表も見応えがあり、一人ひとりの一生懸命な姿に胸が熱くなりました。そして、何より、他の学年の発表を熱く、そして温かいまなざしで見守る応援席の子どもたちの姿にも心を打たれました。こうやって、全員がひとつの場所に、同じ思いで集まることのすばらしさ、運動会のねうちを感じました。



ふり返りのなかで「運動会、めっちゃ楽しかった！」「1,2年生のダンス、みんな笑顔でのりのりやった！」「中学年のエイサー、かっこよかった！」「高学年の旗、そろってて音もすごくて迫力があった！」「6年生になったら、色長さんになって、あんなにかっこよく応援したい。」などなど、子どもたちがお互いをたたえ合ったり、あこがれを抱いたりする姿があり、どの子も愛おしくなりました。保護者の皆様には、一番の応援者として運動会に向かう子どもたちを支えていただき、ありがとうございました。また、観覧場所での譲り合いや駐輪マナーの遵守など、かっこいい姿を示していただいたことにも心より感謝申し上げます。